



第56号



編集・発行人

ふれあいサンホーム編集委員会

<http://www.ksunhome.or.jp>

2021 2021 2021 2021 2021 2021 2021 2021 2021 2021 2021 2021 2021 2021

タクシー車両がバトンタッチ

長年活躍をしてくれた、通称“947号”が老朽化し、この度、新しい車両にバトンタッチすることとなり、2021年1月27日(水)納車されました。



操作方法の説明を受けましたが、やはり新車ということで、新しい機能が色々と搭載されており、通常型の車いすはもちろん、電動車いすにも対応しています。

後部座席は、座席下のレバーを引くことで左右に跳ね上がり、差し込みバックルで固定するため、車いすで乗車後、走行中に倒れてくることがないようにになっています。



新しい車両が来るまでの間、介護タクシーのご利用をお断りせざるを得ない状況にあり、ご不便をお掛けした利用者さまもいらっしゃいました。

お待たせしました！ 今後は、ピカピカの車両で、ベテランのドライバーがお迎えに参りますので、ご予約のお電話をお待ちしております。

“グイーン”と腰をカバー

2021年1月15日(金) 職業病ともいわれる腰痛防止の強い味方！

アシストスーツの着脱方法の説明会および試着会が行われました。

今回試着するのは、「レイボ エクソスケルトン」と「MUSCLESUIT Every」の2つです。



「レイボ エクソスケルトン」は、前屈時に胸部を支えるチェストパッドに内蔵されているエクスジェルが圧力を分散し、回旋動作中も体の動きを妨げずに支え続ける構造になっており、腰骨の部分についているアシスト力 ON/OFF 機能によってスーツの圧力を調整できるので、作業時はON、歩いて移動する時などはOFFにすれば自由に動作ができます。

一方「MUSCLESUIT Every」は、リュックを背負うようにスーツを装着し、付属のポンプで空気を送り込むことでスーツが体にフィットし、一旦しゃがむとバネが戻るような感覚で重いものを持ちあげることができます。そして、送り込んだ空気を抜くことで歩行など自由に動作が可能になります。



着心地やサポート力は、試着した職員によっても好みが分かれていましたが、アシストスーツを付けていなければ持ち上げるのが困難なコピー用紙の箱を“グイーン”と軽々持ち上げて移動させることができ、かがんだ状態で作業をし続けても、腰にかかる負担が軽減されていることを実感できたようです。



今年度は、右側の「MUSCLESUIT Every」を購入しました。
来年度は左側の「レイボ エクソスケルトン」を購入予定です。
身体に無理のかからない介助をすることは、利用者さまにとっても快適な介助になるので、自分にあったアシストスーツを着用して、腰をカバーしつつ、日常のサポート業務を行います。



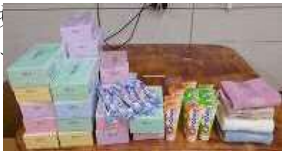
デザートは、笑顔の素 (^^♪

2020年12月23日(水) ふれあい会(利用者さまの会)主催のクリスマス会が開催されました。
イベントとして、○×クイズが行われたのですが...

難しい！！

利用者の皆さんも、全問正解者はいませんが、全員にプレゼントが配られました。

頭を使った後は、お待ちかねのデザート♡プリンアラモードをいただきましたが、“笑顔”



掛け声高らかに“よいしょ〜”



2020年12月16日(水) 恒例の「餅つき会」が開催されました。
例年、ご家族様、近隣地区の皆様にもご参加をいただく 施設の大きなイベントの1つなのですが、今年は、新型コロナウイルスの感染予防のために、おやつの時間を使い、利用者の皆さんと職員だけで、こじんまりとした開催になりました。

ついたお餅は、白玉大に丸めて、ぜんざいとして召し上がっていただきました。来年は、大々的に開催したいですね！



使用する日が来ないことを祈りつつ・・・

2021年3月19日(金) 購入した「感染症対策用簡易折り畳み式ブース(陰圧型)」が届きました。

この陰圧ブース購入については、福井県障害福祉サービス等の衛生管理体制事業費補助金の給付をいただきました。

3月21日には、全都道府県において緊急事態宣言が出ている所はなくなりましたが、新規感染者は下げ止まり傾向にあり、また、福井県においても変異株に感染した方が見つかるなど、気の抜けない状況が続いています。



万が一利用者さまが感染した場合、感染拡大を防止するために、隔離した部屋での介護が必要となります。その際、ベッドの周りをビニールカーテンで囲い、ブース内の空気をブース外よりも低くすることで、感染した利用者さまからのウイルス等の飛散を防止し、HEPA フィルターを通してきれいな空気をブース外に放出するのが、今回購入した「感染症対策用簡易折り畳み式ブース(陰圧型)」です。

ベッドの周りを囲うようにフレーム(脚)を広げ、天井部分のビニールカーテンを覆いかぶせ、フレームを上には伸ばす。

次に側面のビニールカーテンを天井部分のビニールシートに、マジックテープで隙間の無いようにくっつけていく。

最後に、HEPA フィルター付きのクリーンパーテーションを設置して完成です。



特別な工具等は不要で、広げるだけで設営ができ、使用しない時はコンパクトに折り畳んで保管ができるので、とても頼もしいアイテムです。でも、本音の部分では、折り畳んだまま使用する日が来ないことを心から祈るばかりです。

布の摩擦と自重を利用する

2021年1月20日(水) 令和2年度第3回自主避難誘導訓練が行われました。

今回は「応急用担架の作り方を学ぶ」をテーマに、実際に担架を作り、人を乗せて運ぶ訓練を行いました。

当施設では、各棟に既に出来上がっている担架と、応急用担架セット(棒2本・毛布1枚)が備えてあり、火災など災害時に対応できるようになっています。

ただ、いざという時に備えてある物を使うことができないというのでは、無用の長物となってしまいますので、しっかりと作り方を学びました。

Point は！ 2本目の棒を置く、端から15cmの毛布の折り返し！

この幅が狭くなってしまうと、毛布がすべり落ちてしまい、上に被さる毛布との摩擦と搬送される方の自重で押さえる効果を利用できなくなります。

搬送する際は、搬送する方の足を前方にして、駕籠の要領で前後の人が息を合わせて持ち上げ、腰の部分をサポートする人がいれば、より安全に搬送できるとのことでした。

今回学んだことも、“いざ”という時に実践できるよう繰り返し確認をしていきたいと思います。



邪気を払い、福を呼び入れる



2021年2月3日(水) ふれあい会(利用者さまの会)主催の節分会(豆まき)が行われました。



今年は、124年ぶりに2月2日が節分となった貴重な年でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため、神社やお寺でも大々的な豆まきが中止となり、当施設においても、ソーシャルディスタンスを図りながら開催しました。

大きな掛け声はかけられませんが、「鬼は～外 福は～内」「邪気を払い、福を呼び入れるぞ！！」との強い思いを込めて、静かに鬼へ豆の代わりに新聞紙玉を・・・まいて(“まいた”というよりも“投げた”の方が正しいかもれませんが)盛り上がりました。鬼役の職員は、例年よりも“ちよっとだけ”痛い思いをしたかもしれません。

距離感が大事

2021年2月17日(水)不審者対応訓練が行われました。

今回の訓練は、職員に対し「午後に開催」とだけ通知し、不審者役の職員を発見した職員が、いかに手順通りに行動できるかを検証することを目的として行われました。

14:25頃、渡り廊下への出入口から不審者役の職員が施設内に侵入。

出入口近くの居室で作業をしていた職員の内2名が声掛けをし、施設内を歩き回らないよう対応。1名が施設内に不審者が侵入したことを事務所に伝え、館内放送にて利用者さまを避難させるようお知らせし、同時に警察に通報。

警察が到着するまで10分と仮定し、不審者への対応を続ける。



対応した職員も、不審者が逆上しないよう丁寧な言葉で話かけていましたし、他の職員は、食堂にいた利用者さまに近づかないよう出入口のドアに立ちはだかたり、椅子を手元に引き寄せ、万が一襲い掛かってきた場合に備えたり、また、不審者に気付かれぬようにサスマタを保管場所に取りに行くなどの対応をしていましたので、手順書に則った行動ができたと思います。



ただ、両側から腕を組んで不審者が暴れないよう対応した職員の距離感が、もし刃物を持っていた場合に負傷してしまう可能性があるため、一定の距離を取る必要があったのではないかと、不審者役の職員より指摘がありました。

また、田原理事長より、「館内放送も含め、不審者に気づかれぬように職員同士がいかに合図を送るのか、サスマタを保管場所から集結させるのか。サスマタ以外に防御するための何か、今回は椅子(距離が近いので、使い方には気を配る必要がある)を手にしていただいていたので良い判断だと思うが、そういった物を即座に準備することができるかといったことがポイントになると思うので、次回の課題として検討を重ねて欲しい。」との総評がありました。

ソーシャルディスタンスが重要とされている昨今、不審者の対応も**“自分の身を守る距離感が大事”**だと肝に銘じ、次回は実際に警察の方にご協力をいただき訓練をさせていただけたらと考えています。

お心遣いに感謝

2021年2月16日(火) あわら市にあります老舗温泉旅館 清風荘様より、売店でも販売をされているお菓子に、下記の応援メッセージを添えて頂戴し、職員に配らせていただきました。

**「命を支えてくれてありがとう」の感謝の気持ちと
「ホッとひといきついでくださいね」という応援の想いを
込めて贈らせていただきます。**



新型と入力すると、新型コロナウイルス感染という予測候補が表示されるくらい未だ収束しないコロナ禍において、このようなお心遣いをいただき、職員一同感謝の言葉に尽きません。糖分を補給して、がんばります！！

更に、盤石な備えを！

2021年2月16日(火) 福井県社会福祉センターにおいて、「NHK 歳末たすけあい助成決定通知書交付式」が行われました。

当施設では、平成29年5月に「地域社会における支援・協力に関する覚書」を取り交わし、非常災害時における具体的な協力内容を文書化しており、当施設は地元の方への一時避難所を提供し、地域の皆さまには人的応援をお願いしています。新たに「移動式かまど」「浄水器」「災害用トイレ」などを購入することを検討し、申請をお出したところ、15団体の1団体として選んでいただきました。助成をしていただいたことに感謝し、更なる地域貢献に努めます。

◆編集◆後◆記◆

早いもので今年度もあと数日となりました。振り返ると、新型コロナウイルスの影響で、イベントが開催できなかったり、外出・外泊ができなかったりと、利用者さまにもご家族の皆様にもストレスフルな1年となったことと思います。反面、1年を通して、うがいや手洗いに始まり、こんなに自分の身体のことを労った1年もなかったように思います。

免疫力を高めるためには、「適度な運動」「体を温める」「良質のタンパク質・ビタミン(ACE)を摂る」「規則正しい生活をする」と良いとされています。新年度に向けて、「元気な自分」作りにも励んでみるのも良いですね。